

精卵着床→黄体刺激ホルモン維持→妊娠の継続
ねらい (1) 生体内の仕組みの見事さに気付かせる。
(2) 保健の性の学習へ結びつけ、生体の営みの一つとして理解させる。(3) 異性への理解を深めいたわりの気持ちをもたせる。

4 性別のコントロール

性決定のしくみ
産業として見た場合の性別のコントロールの意義
ヒトでも妊娠初期から胎児の性別の判定可能
問題点 (1) ヒトで胎児の性別がわかった場合の問題、(2) ヒトの性別のコントロールが可能になったら

5 先天的病気の判定

染色体異常による病気の例：ダウン症
問題点 (1) 出産前に異常がわかったとして、妊娠中絶をすることが許されるか。(2) 倫理・道徳・法律上の問題として考える必要がある。

6 臓器移植と死の判定

移植医学の進歩：角膜・皮膚・腎臓・心臓の移植の現状
死の判定：脳死と植物人間
問題点 (1) 心臓死と脳死 (2) 死の判定についての国民的合意と法律 (3) どこまで移植がゆるされるか。(大脳の移植は?)

7 大脳操作

催眠術
電極刺激
脳破壊手術：アルコール
分子レベルでの治療：クロールプロマジン
問題点 (1) どこまで大脳に手を加えることが許されるか (2) 自己とは何か。

8 環境問題

動植物絶滅の例：マンモス、恐竜
それにどのようにして歯止めをするか。
問題点 (1) 開発と環境保全 (2) どうして人類との共存が可能か (3) カモンカとヒノキなどの例を通して考える。

9 人口問題

人口増加の恐ろしさ
人口増加の原因：出生と死亡
将来人口の推計
問題点 (1) 人口増加によってどのような困難が生ずるか。(2) 人口抑制のむつかしさ

10 食糧問題

アメリカ政府特別調査報告「2000年の地球」
人口の増加：41億→63.5億
食糧の増産：耕地100 →104
1 hで2.6 人養う→4 人
土・水・森林：2年前には陸地の1/4 →22年後には1/6
問題点 (1) こうした問題は殆ど南の諸国で起こっている。南北の問題として考えねばならない。2000年には先進国のGNPは11,000\$だが途上国では600 \$にすぎない。(2) 軍備拡張を競うような現在の世界の考えをグローバルな人類の将来を考えるという思考に転換する必要がある。(3) 現在アフリカで起こっている食糧危機の問題がどうして生じたか、またどのような対策が望まれるのかなど考察する。

11 人種問題

皮膚の色の生物学的意味
体形の生物学的意味
ねらい 人種差別とか隔離政策が無意味であることへの理解を深める。

7. 文系選択科目導入にあたって

安藤 富美子

(1) はじめに

総合学習を、中学3年生に、ゆとりの時間を利用し

て、“人間を考える”というテーマで試みてきた。この中で、筆者は、人間と性について、授業を行った。人間にとって、“性”とは、種の保存のみではなく、

相手に対しての思いやり、しいては、生命を尊ぶことにもなる。現在、性に対する情報の氾濫、テレビなどの影響で、抵抗もなく、考えることもなく、受け入れてしまう傾向にある。これらの流れをくい止めることは、非常に困難であるが、いろいろな面から、人間にとって性とは、自分にとって性とは、を考えさせてみたいと思う。

(2) 総合学習としての性教育

保健の授業においては、「心身の機能」において、妊娠、出産、男、女の性機能、「集団の健康」において、健康な結婚生活と家族計画がある。

しかし、これらは、時間数が限られ、なかなか生徒自ら考えさせるところまで進められないのが現状である。

高校の文化祭で「高校生の愛と性について」という文化講座をもったことがある。この時、高2・高3が主で20人ぐらい集まり、前半は、人工妊娠中絶とは、で講義形式で行い、後半を討論会とした。この時の討論会では男女がいっしょであったにもかかわらず、いろいろな問題が話し合われた。この中には、前半で、妊娠中絶について話したことと関連して、高校生の妊娠、男女の愛情の表現のちがひ、結婚観などがあつた。あとで、ある高3の女生徒が、「私もう、あの時、話した男の子の顔がみれない、あの話し合いの時は、つい大胆なことをいってしまった。あとで考えると恥ずかしい」と感想をいっていた。

このように、生徒一人一人が、自分の問題として考え、話し合うことが、「性」に関してだけでなく、公

害についても、平和についてもいえるのではないかと
思う。

このように話し合えるようになるために、予備知識が、必要となってくる。それには、妊娠のしくみ、胎児から出産までの成長、出産、人工妊娠中絶などの医学的な知識や、男性と女性の性行動のちがひ、などのスライドや16mmなどを見せることや、自分達の手で新聞や「青少年白書」などを利用して、現在の人工妊娠中絶の数やその他、性に関する問題点をみつける作業をしたり、市販されている中・高校むきの雑誌などのマンガをみて、ここに描かれている「性」について、話し合ってもみたいと思う。これらのことから、最後に討論会をしていくのがよいと思う。その際、先生にも加わってもらい5、6人のグループに別れて話し合い、最後に全体的にもっていくのがよいと思う。これらにより、自分達の「性」に対する意識を深めて行きたいと思う。

(3) おわりに

総合学習では、一人の教師が1時間受け持つというわくをはずし、複数の教師で行ったり、生徒に発表させたりという形式をとってもよいと思う。私達のグループでも、複数の教師で行うという点にすでに着手している。「性」やその他いろいろな問題について、いろいろな教師から、いろいろな考え方を学ぶことが必要だと思う。それらを通して、自分の考え方、生き方を自らの手で決めていければ、総合学習を選択したことが有意義となると思う。